

「コンバートEV車製作への挑戦」

10月度例会日より



大自青季報

新年 第19号



大阪自動車青年会議所
http://daijisei.com/

平成25年1月1日発行

10月度例会を10月4日(木)午後6時30分から大阪府自動車整備会館にて開催致しました。アンビアンオートファッション代表取締役 椿本 徹氏を講師にお招きして、例会のテーマである「コンバートEV車製作への挑戦」についてご講演いただきました。

最初に、フォルクスワーゲンのルポGTI(MT)をベースに製作したコンバートEV車を実際に試乗し、皆様に体感して頂いてから講演に移って参りました。

製作期間として平成23年8月からおよそ11ヶ月間かけ、数々の困難を克服してナンバーの取得に成功し公道を走れるEV車製作の過程をお話し頂きました。

いま、大企業中心のこの自動車業界にたった数人の会社でも新しい風を起こせるかもしれない。そのためにもEV車はきつと素晴らしい素材になると考え、自動車を自ら製作し、若い世代に独自の提案をすることも大きな夢として目指す事ができるのではないかと考え、アンビアンEVチャレンジはスタートしました。

「今回の取り組んだ事実と経験と蓄積されたノウハウは必ず大きなエネルギーとなり、すばらしい人との強いつながりを生み、大きな将来の推進力になると確信しています。」と熱く語って頂きました。

私たち自動車業界に携わる者として、椿本社長のようにな大きな夢をもって今後、邁進していきたいと強く感じました。

2月度例会のお知らせ

テーマ：「インフォメーション・テクノロジー活用法」
～新たなビジネスチャンスの開拓！～

日時：平成25年2月7日(木) 18:30～

会場：たかつガーデン 大阪市天王寺区高津町7-11

大阪自動車青年会議所の例会に一度遊びに来ませんか。2月度の例会は発表例会として、近年、自動車・整備業界におきましてもITの活用は欠かせない存在となっており、集客管理・会社アピール・経営管理など多岐にわたって関係している状況です。IT全般の基礎知識から「Facebook」「Skype」の活用方法などを発表致します。必見です！オブザーブが可能な例会ですのでふるってご参加ください。

詳しくは大阪自動車青年会議所事務局 宮城(TEL:06-6613-1191)まで

例会だより (第37回近青協合同例会)



玉入れ (運動会)



みんなで記念撮影



最優秀選手に選ばれた中嶋次年度会長予定者(懇親会)



クラブ紹介をする金岩会長 (式典)

平成24年11月22日(木)、滋賀県にて第37回近畿地区自動車青年協議会(近青協)の合同例会が開催されました。

本年度は滋賀自動車青年会議所が主幹となり「躍動」をテーマに第一部運動会、第二部式典、第三部懇親会と三部形式にて開催されました。

第一部の運動会は長浜ドームにて開催され、滋賀自動車青年会議所西村理事長の挨拶に始まり、障害物競争、玉入れ、大玉運び、騎馬戦、ドッジボール、相撲、二千mリレーと競技が続きました。初めは、若干の戸惑いもありましたが、競技が進むにつれて大変白熱したものとなり、紅白に分かれて競い合い最後の最後のリレーまで大接戦となり大いに盛り上がりました。

第二部式典はエクシブ琵琶湖にて開催され、当日ご臨席を賜りました来賓紹介の後、業界の繁栄に寄与する事を目的としている近青協各クラブ、そして情報委員会及び友好団体の本年度活動報告が行われました。

第三部懇親会では、第一部運動会の表彰式、各クラブ新入会員と卒業予定者の挨拶、そして次年度会長、理事長予定者が発表されました。中でも相撲&リレーで大活躍された大阪自動車青年会議所次年度中島会長予定者が最優秀選手に選ばれ、大阪をしっかりとアピールし次年度につながるすばらしい合同例会となり閉会されました。

当日は長時間に渡りご来賓の皆様、友好団体の皆様方の多数のご臨席を賜りました事、改めてまして御礼申し上げます。

余談ではございますが、4種目出場した私は後日、全身筋肉痛、左手突き指と苦しみました。が、童心に戻ることもでき大変有意義な合同例会となりました。

(総務委員長 吉田伸次)

例会だより (12月度例会)



12月例会が12月6日(木)にたかつガーデンにて開催しました。

㈱カービュー 西日本みんカラ営業チーム エグゼクティブプランナーの松原広征 氏を講師にお迎えし、「NET社会の上手な活用術〜NETのからくり〜」をテーマにご講演いただきました。

今や『みんカラ』と云えば自動車の事が好きな方には知らない方はいない位の自動車専門のポータルサイト最大の『みんカラ』を運営する㈱カービューが『みんカラ』より得た自動車業界の実情をIT企業側の目線から整備業界の方にもすぐに役立てる情報を提供していただきました。

『みんカラ』で自動車整備業の紹介などNETを使った情報発信などこれからの売上アップに繋がるヒントをいただき、大変好評な例会となりました。

近青協親睦会 開催報告

9月13日(木)に平成24年度近畿地区自動車青年協議会親睦会が此花区の舞洲インフィニティサーキットで各クラブ総勢44名の参加で行われました。

当日は晴天に恵まれ9月中旬にしては、かなり暑い日となりました。

参加者の大半がスポーツカート初体験でしたが、30分の練習走行ですぐに慣れ、その後各クラブ2チームずつ作り、90分の耐久レースを行いました。

レース中は各チームの周回のトップタイムが随時表示され、交代のタイミングなど考えたり、本格的なレース体験ができ、汗だくになりながら、かなり盛り上がりました。

無事参加者の怪我もなく、レース終了後の懇親会では耐久レースの表彰式など行われ、焼肉を食べながら各クラブの交流を深めました。



カーライフ・エッセイスト吉田由美

「2012年の顔」

年の瀬が近づくと毎年行われる各種カーオブザイヤー。自動車業界の顔とも言える1台を決める各種カーオブザイヤーが今年も出揃いました。現在は主に3つの団体がこういったものを決める催しを行っていますが、去年はじめて「日産リーフ」が全カーオブザイヤーを制した以外は、毎年その団体ごとに選ばれるクルマが違ふのが興味深い。選ぶ人が違ふと、選ばれるクルマも違ふ、ということでしょうか。選ぶ人がどこに審査基準を置くか、何をもち、よいクルマと考えるかによって選ばれる車が大きく変わります。それに加えて、人によってはメーカーとのしがらみが見え隠れし、“推しメン”ならぬ“推しメーカー”がわかりやすい人も…。

そんなこともあってか、ユーザーの中にはそういった専門家の評価より一般ユーザーの口コミを信用するという声もあるようですが、メーカーは社内のモチベーションを高めるためにもこの賞レース、やはり必要なのだとか。そのせいか、ここ最近開催される自動車系イベントは、1年中賞対策に見えてしまう今日この頃。さらに年々、エスカレートしている気配さえあります。そんな現状に密かに危機感や疑問を感じている人、私以外にもいるかもしれませんね…。



大募集！！ 平成24年度新入会員

大阪自動車青年会議所では我々と一緒になって活動していただける新入会員を募集しております。

大阪府下で自動車整備を営んでいる方で、45才までの経営者もしくは経営幹部の方なら入会可能です。毎月一回例会を開催し、会社経営に関すること、整備技術に関すること、自己のスキルアップにつながることなど、同世代の仲間が集まって切磋琢磨しています。

あなたも是非この機会に例会に遊びに来てください。そして我々と一緒に活動しませんか。

お問い合わせは大阪自動車青年会議所事務局

社団法人 大阪府自動車整備振興会内 担当 宮城

TEL：06-6613-1191 (振興会 代表)

ホームページアドレス <http://daijisei.com/>